cybozu labs Youth



サイボウズ・ラボの学生支援制度

サイボウズ・ラボユース

世界に通用する若手エンジニアの発掘と育成

サイボウズ・ラボユースとは

1. ソフトウェア研究開発への熱意を会社が応援する制度
2. サイボウズ・ラボ社員（メンター）が技術指導
3. 奨励金・交通費を支給（奨励金のない「ラボユース研究生」もあります）
4. 成果物の権利は個人に帰属

一般のインターンとラボユースの比較

	インターン	ラボユース
目　的	業務体験	個人プロジェクト支援
期　間	短期	長期（最長1年）
権利帰属	会社	個人

修了生の声

第11期生 大滝理貴さん

ラボユースでデータベースシステムの開発に従事した経験は、私のシステムプログラミング能力の基盤となっており、現在大学院での研究にも大いに役立っています。メンターの方には非常に多くのアドバイスをいただき、感謝してもしきれません。

第12期生 赤間滉星さん

ラボユースの継続的なサポートによって、困難な実装もなんとか成し遂げることができました。おそらく一人では、あっさり心が折れていたと思います笑

第12期生 吉田琉夏さん

耐量子計算機暗号の同種写像暗号について理解を深めたく、参加しました。実用的なプログラムを書いた数は比較的少なかったので不安でしたが、メンターのサポートもあり、集中して開発し、実装できました。

cybozu labs Youth

サイボウズ・ラボユースの開発コース紹介



自分が欲しい ツール・ライブラリ開発

光成 滋生

作りたいものがあり、それに対する熱意があって実際にそのための行動を開始しているが、一人では開発が難しいと感じている人を募集します。OS・システム開発・言語・ライブラリ・情報セキュリティ関係など開発テーマは問いません。

応募フォームには「何を作ろうとしていて、どんなことをやってきたか・調べてきたか、どのような点でサポートが欲しいか」などについて具体的に記載してください。



機械学習/自然言語処理に関するソフトウェア開発

中谷 秀洋 (@shuyo)

機械学習や自然言語処理に関するプログラミング開発を募集します。深層学習を始めとしたいわゆる AI 技術は簡単に入門できますが、実際の研究に使われている独自データに適用しようとすると、機械学習や統計の深い知識が要求されます。またモデルや学習を正しく実装できているのかわかりにくいという問題もあります。そうした困難に直面して困っているテーマの応募を歓迎します。



システムソフトウェア研究開発

星野 喬

主にデータベースやストレージその他のシステムソフトウェアおよび、その中で使われる並列分散処理などの技術についての研究や学習をサポートします。具体的には活動への助言、設計・コード・発表スライドなどのレビューを行います。やりたいことが少し違っていても意欲が高くてメンターがサポートできそうであれば受け入れますので気軽にご相談ください。



言語処理系開発

川合 秀実

主としてプログラミング言語処理系の開発をサポートしますが、メンターとして川合を指名したい場合はこれに限らずOKです。応募の際には必ずwebで詳細を確認してください。目安として、メンターからのアドバイスがなくても6割くらいまでは作れそうな開発内容が望ましいです。自分が作ったものを自分で使って、開発効率を改善できたら面白いと思っています。



低レイヤ開発

内田 公太 (@uchan_nos)

このコースでは主にOSやCPUなどの開発プロジェクトを募集しますが、メンターに内田を指名したい場合は他の分野もOKです。OSやCPUの自作・講義経験やクラウドインフラ開発経験をもとにサポートします。OS・コンパイラ・CPUを全部自分で作るからこその独特な世界観や機能を作ったり、自分が使いやすいコンピュータを追求したり。作りたくてたまらない開発テーマはありますか？



募集要項

募集期間：コース、年度による
選　　考：書類選考、面接
作業場所：オンライン（2026年時点）
作業時間：平日 9:00〜18:00
奨 励 金：年間最大120万円
交通費などの経費は規定により別途支給

詳しくはこちらをご覧ください
サイボウズ・ラボユース
https://labs.cybozu.co.jp/youth.html